

*桜も咲きました。お花見を済ませましたか？

/// I N D E X ///

- LCA 関連ニュース……経済産業省と環境省の CFP ガイドラインができました。
WBCSD が削減貢献量のガイドラインが出ました。
- LCA の実務 mini……カットオフはしない？
- LCAF からお知らせ…2023 年度 LCAF 初級研修と中級研修
- 編集後記……

■ LCA 関連ニュース ■

○経済産業省と環境省のカーボンフットプリント (CFP) ガイドラインが出ました。

前号で「パブリックコメントがはじまります」とお伝えした「サプライチェーン全体でのカーボンニュートラルに向けたカーボンフットプリント算定・検証等に関する検討会」の「カーボンフットプリントガイドライン」が発表になりました。CFP を取り巻く最近の状況の調査レポートも同時に発表されています。

- 経産省プレスリリース

<https://www.meti.go.jp/press/2022/03/20230331009/20230331009.html>

- 経産省検討会

https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/carbon_footprint/index.html

このガイドラインは、企業の皆さんが、自分の製品の CFP を計算して自主的に開示することで、たとえば納品先の企業が Scope3 基準のカテゴリー1 (購入品の CFP) で使えるようになり、サプライチェーン全体 (広く言えば社会全体で) カーボンニュートラルに向かうことを目指しています。CFP を算定するためには算定ルールが必要ですので、関係者が集まる工業会等で「商品別算定ルール」を作成するためのガイドにもなっています。皆さんで使ってみてください。使い勝手が悪いようなら改訂を働きかけようと思います。

○WBCSD が削減貢献量(Avoided Emission)のガイダンスが出ました。

3月22日に公表されました。

<https://www.wbcsd.org/Imperatives/Climate-Action/Resources/Guidance-on-Avoided-Emissions>

このガイダンスでは、企業が製品の削減貢献量を算定・公表する前に自社の Scope3 を実施し、GHG の削減に努力することを求めています。削減貢献量は「良いところだけをアピールするグリーンウォッシュだ」と批判されることを心配する企業が多いので、それを取り除くための方法とします。ベースラインの選定は「その製品がなかりせば使われたであろう製品」と定義されています。この定義やその他の算定方法も、日本 LCA 学会のガイドライン(2015)と同じです。しかし、日本 LCA 学会が素材や部品の削減貢献量の算定の場合に求めている「寄与率」については何も書かれていません。「ダブルカウントを承知で、バリューチェーンの全体での削減貢献量を算定する」ことになっています。この点は WBCSD の化学産業部門である ICCA の削減貢献量のガイドラインと同じです。また、経済産業省のガイドライン(2018)とも共通しています。

電気電子製品とそれらを用いたソリューションの削減貢献量の算定方法を示す IEC63372 の開発が進んでいますし、ISO14064:2015 に削減貢献量を取り込む活動も開始されています。Scope3 の削減だけでなく、脱炭素に役立つ製品やサービスの開発することが重要であることが世界的に認知されていると思います。

■ LCA の実務 mini : カットオフはしない？ ■

LCAF 通信の新コーナーです。LCA の教科書や ISO に書いてないこと、または書いてあっても実務には適用されていないことなど、実際の実務で行われていることを解説します。はじめは「カットオフ」です。

上記の「LCA 関連ニュース」で書いた経済産業省と環境省の「CFP ガイドライン」では「カットオフは可能な限り行わないことが望ましい」としています。最初の案は「全体の 5%はカットオフして良い」と書いてありましたが、細かい部品がたくさんある場合もあるので、「0%はカッ

トオフして良い」と書く方が親切だという意見もありました。

経済産業省と環境省の「CFP ガイドライン」は、CFP の規格である ISO14067:2018 の「すべてのプロセスを含まなければならない。重要でないものはカットオフしても良いが、その理由を説明する。」に倣っています。歴史を振り返ると、2006 年にまとめられた LCA の規格 ISO14044:2006 では「インプット及びアウトプットの初期の算入のためのカットオフ基準、並びに設定したカットオフ基準の前提条件は、明確に記載されなければならない。」とされています。この 2006 年にまとめられた LCA の規格は、その前の 1997 年の LCA の規格を踏襲しているのですが、その解説書である ISO/TR14049:2000 では「質量に基づいて物質の入力を除外するという決定は頻繁に行われてきた。」と書かれています。つまり、「カットオフ」は「昔は行われていたが、今は行われなくなっている」ということです。

LCA や CFP の実務で最初に突き当たるのが、「実際に使われている素材や部品が 2 次データベースに載っていない」という問題です。LCA の実務では、このような時には文献や特許情報を探して 2 次データを自分で作るのですが、どうしてもデータが見つからない場合は、全体への影響が少ないことを条件に「カットオフ」することが行われてきました。(今でも場合によっては、私たち (LCAF) は、自分でデータを作る手伝いを続けています。)

ところが、最近は 2 次データベースが詳細になったので、「全く同じではないとしても代用できるデータを見つけることができるようになった」のです。すなわち、「2 次データベースから代用に耐えるデータを探す」ことが実務になっています。代用できるデータが見つければカットオフする必要はありません。IDEA はこのコンセプトをさらに進めています。IDEA の開発者の産業技術総合研究所の田原さんの言葉を借りれば『『カマンベールチーズ』のデータがない時は、『チーズ』という一段階上のデータで代用できる』ように作られています。LCA の実務ではカットオフせずに、細かい部品や素材もまとめて 2 次データで代用することが行われています。

ちなみに、「工場で清掃に使う手袋は算定しない」というようなことはカットオフではなく、「システム境界の設定」で算定する「単位プロセス」を決める時に行います。カットオフは、単位プロセス内で除外するインプットとアウトプットの決定方法です。また、今ではあまり言いませんが、昔はカットオフしなければならない状況が多かったので、「カットオフした場合はその部分の環境負荷が他の部分と同じとみて全体を補正する」ことが行われて来ました。この補正が行われない場合は、システム境界外の「他の製品システム」として記述することになります。

■■ LCAF からのお知らせ ■■

○LCAF の 2023 年度の事業計画が理事会で承認されました。

LCAF : LCA 初級研修は、6 月、9 月、1 月の 3 回実施します。

LCAF : LCA 中級研修は、8 月と 12 月の 2 回実施します。

皆さんからのご要望を頂ければ追加の実施も行います。また、個別の企業内研修も引き受けます。ご相談ください。

■■ 編集後記 ■■

この号から新コーナー「LCA の実務 mini」を始めました。このコーナー名は「岩合光昭の世界ネコあるき mini」を真似しています。ネコといえば最近「♪チュールチュールチャオチュール♪」ですね。我が家の 11 歳メスもこれが大好きです。水曜日と土曜日のおやつにあげることにしています。「いなばフーズ」のヒット商品ですね。同郷です。私の名前によく似た今の社長が高校の 1 学年下にいたような。。。。

静岡県清水市 (今は静岡市清水区) の高校です。菅元総理の奥さんは、私の隣のクラスでした。昔はサッカーで全国制覇もした高校なのですが、今は県優勝もできません。サッカーと言えば、清水エスパルスも J2 に落ちて見る影もありません。清水市でまだ元気なのは「ちびまる子ちゃん」でしょうか。廣瀬すず・アリス姉妹も有名ですね。

明日から 4 月です。今年度の最後の今日 14 時に「LCA 関連ニュース」で書いた「経済産業省と環境省のカーボンフットプリント (CFP) ガイドライン」が出ました。新しい年度はどんな年度になるのでしょうか。

桜の季節になると、小学校の校庭にあった桜を思い出します。華やかな桜ですが、「花に嵐のたとえもあるぞ さよならだけが人生だ」をいつも思い出します。井伏鱒二だったのでしょうか。。別れと新しい出会いの季節が始まります。

(LCAF 理事長 稲葉 敦)

ご意見,ご感想,本メールマガジンの解除のご連絡はこちらまで
lcaf-contact@lcaf.or.jp

一般社団法人 日本 LCA 推進機構
Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)
(エルカフと呼んで (読んで) ください)
〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-36-7
アルテール池袋 608
電子メール : lcaf-contact@lcaf.or.jp
URL:<https://lcaf.or.jp/>